

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成22年12月

(平成22年11月末調査)

平成22年12月17日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【10月】	諏訪公共職業安定所管内	0.67倍	+0.23ポイント	
手形交換高【11月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,065枚	+197枚	
	金 額	11,101百万円	+1,616百万円	
	うち不渡り	枚 数	0枚	15枚
	発生状況	金 額	0千円	46,552千円
電力使用量【11月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	50,999 MWh	3.7%	
	高圧電力計	100,501 MWh	+6.6%	
	合 計	151,500 MWh	+2.9%	
車庫証明取扱件数【11月】(諏訪地方合計)		894件	9.5%	
新設住宅着工戸数【22年4月～10月】(諏訪管内)		606戸	12.8%	

本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

製造業

工作機械や専用機などの産業設備関連は、アジア向けを中心として受注や生産の回復傾向は続いているものの、国内メーカーとの価格競争に加えて現地メーカーの廉価な機械との競争が増えている。自動車部品の下請企業からは、エコカー補助金の終了に伴う減産は今のところ当初の想定より小幅であるものの、引き続き先行きへの不透明感がきかれる。デジタル一眼レフカメラの関連企業の受注は比較的堅調であるが、金型関係の新規受注は低調であり年明け以降の見通しも弱含んでいる。

地域製造業の11月の生産水準には一服感や弱含み感がきかれ踊り場の状況となっているが、年明け以降も家電エコポイントの終了や円高の定着による親会社の海外移転の進展などが懸念されている。

商業

諏訪地方の11月の天候は、晴れた日が多かったものの寒気の影響で気温が低くなった時期があった。12月からの家電エコポイントの半減を前に、対象商品であるテレビ、冷蔵庫、エアコンの売れ行きは例年の数倍に達したものの、9月にエコカー補助金が終了した自動車の車庫証明件数は3ヶ月連続で前年同月を下回った。

気温の低下から、衣料品では発熱下着などの実用衣料の売れ行きは堅調であり、食料品でも鍋物食材等に動きがきかれる。

なお、諏訪市内では生鮮食料品の併設や住関連の大型店舗の新設があったことから店舗間の競争が激しくなっている。

観光業

諏訪大社の参拝者数（上社・下社合算）は約64千人で前年同月比約+12千人（+24.7%）の増加となるなど、信州DCキャンペーンの効果により地域への入り込み客数は増加した。

また、ホテル旅館の宿泊者数も新型インフルエンザへの警戒から団体旅行や学生の合宿等の取り止めが相次いだ昨年に比べると増加したところが多い。上諏訪温泉の宿泊者数は信州DCキャンペーンの効果等から前年同月に比べ10～20%程度増加した施設が多いものの、キャンペーン企画により宿泊単価の低下がきかれる。

飲食店やホテル旅館への忘年会の予約状況は、週末への集中やグループの小規模化がみられるなど総体的にはやや低調な動きとなっている。

建設業

市町村の11月の発注工事は、建築工事6件31百万円、土木工事・下水道工事48件346百万円、その他工事13件196百万円の合計67件574百万円で、前年同月比では件数は29件減少したものの、契約金額は+52百万円の増加となっている。県関係の11月の公共工事（地元業者受注分）は23件300百万円で、平成22年4月～11月の累計契約は137件3,458百万円と前年同期累計比では件数は+16件の増加、契約金額も+580百万円の増加となった。民間工事は、諏訪地方の10月の新設住宅着工戸数は89戸と前年同月比で+25戸（+39.1%）の増加となったものの、平成22年4月～10月の年度累計では606戸で前年同月に比べ89戸（12.8%）の減少となっている。

住宅着工等は基調としては引き続き低調であるが、住宅ローン金利の低下や住宅版エコポイントの効果などから一部に下げ止まり感もきかれる。

雇用

諏訪地域の10月の有効求人倍率は、前年同月を+0.23ポイント上回り0.67倍と前年同月を6ヶ月連続で上回っているものの依然として低水準で推移している。また、全国の同倍率は0.56倍、長野県の同倍率は0.63倍となっている。

諏訪地域の10月の新規求人（全数）は1,220人で前年同月比+265人（+27.7%）の増加、新規求職者数は1,079人で前年同月比118人（9.9%）の減少となっている。産業別では郵便局の季節求人のほか、サービス業、医療・福祉業、宿泊業の新規求人数は前年同月に比べ50%以上増加しているものの、製造業では業況に一服感があることから引き続き大幅な改善は見込まれない。

なお、10月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失者は82人で前年同月より9人減少、前月より+8人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	デジタル家電向けは横這い状況であるが、LED関連で受注の増加が きかれる。
コンデンサー プリンター	受注は弱含みで推移している。 サーマルプリンター関係は堅調であるものの、大型プリンターやイン クジェット関係では弱含み感がきかれる。
コンタクター・ リレー	生産は横ばい状況で安定している。

2. 輸送用機械

自動車	エコカー補助金の終了に伴う減産は今のところ当初の想定より小幅で あるものの、引き続き先行きへの不透明感はきかれる。
ピストンリング・ シリンダーライナー	下請企業の受注は比較的堅調に推移している。
船外機	アジア向け機種を受注は堅調に推移し、欧米向けの機種も幾分動き始 めた。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジア向けを中心として受注や生産の回復傾向は続いているものの、 国内メーカーとの価格競争に加えて現地メーカーの廉価な機械との競 合が増えている。
搬送用機械	大型機種の引き合いは引き続き弱含んでいるが、小型機種等の受注は 増加している。
金型	新規受注は低調であり、年明け以降の不透明感もきかれる。
ダイカスト	自動車関連部品で弱含み感がきかれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの10月の生産台数は1,343万台で前月比 +4.3%増加、前年同月比 5.9%減少となっている。10月の出荷台数 は国内出荷85万台、海外出荷1,277万台で出荷台数全体では前月比+ 4.9%増加、前年同月比 3.7%減少となっている。(カメラ映像機器工業会)
レンズ	デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注は比較的堅調である。 生産が幾分弱含んでいるなかで、中国のレアアース問題から研磨剤の 価格が高騰している。

5. 織 維

ニット

春物のサンプル生産の点数が増えており、本格生産時には例年より小ロット化が見込まれている。

6. 食 品

寒天

荷動きは引き続き順調であり、今季の生産は例年より早めに始めている。また、生産量は約1,600万本と前季より約1割増を予定している。

味噌

需要期を向かえているが、出荷状況は幾分弱含み感がきかれる。

7. 製 材

諏訪地方の10月の木造住宅着工戸数は64戸で、前年同月に比べ+2戸の増加となった。

8. 建 設

公共工事

11月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所16件、林道治山工事関係3件、農地整備課2件、その他土木工事2件の合計23件、契約金額300百万円となった。また、平成22年4月～11月の累計契約は137件3,458百万円と前年同期累計比では件数は+16件の増加、契約金額も+580百万円の増加となった。

市町村の11月の発注工事は、建築工事6件31百万円、土木工事・下水道工事48件346百万円、その他工事13件196百万円の合計67件574百万円で、前年同月比では件数は29件減少したものの、契約金額は+52百万円の増加となっている。

民間工事

諏訪地方の10月の新設住宅着工戸数は89戸で前年同月比では+25戸(+39.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+14戸増加の69戸、「貸家」は+6戸増加の12戸、「分譲」は+5戸増加の8戸となった。また、平成22年4月～10月の年度累計は606戸で前年同月に比べ89戸(12.8%)の減少となっている。

また、長野県内の10月の新設住宅着工戸数は850戸で、前年同月比13.1%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が570戸で1.9%減少、「貸家」が209戸で34.9%減少、「分譲」が69戸で8.0%減少となった。

住宅着工等は基調としては引き続き低調であるが、住宅ローン金利の低下や住宅版エコポイントの効果などから一部に下げ止まり感もきかれる。

9. 商業

諏訪地方の11月の天候は、晴れた日が多かったものの寒気の影響で気温が低くなった時期があった。12月からの家電エコポイントの半減を前に、対象商品であるテレビ、冷蔵庫、エアコンの売れ行きは例年の数倍に達したものの、9月にエコカー補助金が終了した自動車の車庫証明件数は3ヶ月連続で前年同月を下回った。

衣料	衣料品全体の動きは引き続き弱含んでいるものの、各メーカーが力を入れている発熱下着などの実用衣料の売れ行きは堅調であった。
食料品	気温の低下から鍋物食材に動きが出始めたものの、各店舗間の価格競争から売上は前年並みに留まっている。
家電製品	12月からの家電エコポイントの半減を前に対象商品の売れ行きが好調で、なかでも薄型テレビの売れ行きが前年同月の5~6倍に達して品薄状態になったとする店舗がみられる。
自動車	諏訪地方の11月の車庫証明件数(軽自動車除く)は894台で前年同月比94台(9.5%)の減少とエコカー補助金終了の影響から3ヶ月連続で前年同月を下回った。
ホームセンター	諏訪市内では生鮮食料品の併設や住関連の大型店舗の新設があったことから、店舗間の競合が激しくなっている。

10. 観光

信州DCキャンペーンの効果により地域への入り込み客数は増加し、ホテル旅館の宿泊者数も新型インフルエンザへの警戒から団体旅行や学生の合宿等の取り止めに相次いだ昨年に比べると増加したところが多い。

飲食店やホテル旅館への忘年会の予約状況は、週末への集中やグループの小規模化がみられるなど総体的にはやや低調な動きとなっている。

上諏訪温泉	宿泊者数は信州DCキャンペーンの効果から前年同月に比べ10~20%程度増加した施設が多い。ただし、キャンペーン企画のため宿泊単価の低下がきかれる。
蓼科・白樺湖・車山	ホテル旅館により区々であるが、宿泊客数は前年を幾分下回った施設が多い。宿泊付の忘年会ではグループの小規模化がきかれる。
下諏訪温泉	七五三の会食で前月に比べ日帰り客は増加し、宿泊部門も家族や小グループの需要を取り込んだ施設では売上の増加がきかれる。
諏訪大社	上社・下社合わせた11月の参拝者数は約64千人で、前年同月比約+12千人(+24.7%)の増加となった。個人客、団体客ともに増加しており、引き続き御柱祭や万治の石仏のPR効果、さらにはパワースポットとしての人気がきかれる。